

支援機器相談シート

<p>相談内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視線入力を活用して絵を描くことができるようになると本人が楽しめると思うので、視線入力についていろいろ知りたい。 ・自分の気持ちを選択する手段としてスイッチの活用はできるか。 ・現在、座位保持椅子とカーシートを授業で使用しているが、カーシートは部分的に手を加えてあるが、頭が傾かない方法があれば教えてほしい。 ・写真1は、頭の傾きを支えていない状態 ・写真2は、ヘッドレストの角度を変えて、頭が傾かないように工夫 ・写真3は、座位保持椅子の首があたる部分にバーを付けた。写真4では、傾きをバーで固定 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真3</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真4</p> </div> </div>
<p>相談結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視線入力を活用して絵を描くことができるようになると本人が楽しめると思うので、視線入力についていろいろ知りたい。 → 「ポランの広場」というサイトから「Eye Mot」というアプリケーションを使用してみるのをおすすめである。 また、視線入力の活動だけを行うのではなく、透明文字盤などで視線を動かして選択するという学習活動と合わせて行っていくことが大切である。 ・現在、座位保持椅子とカーシートを授業で使用している。カーシートは部分的に手を加えてあるが、頭が傾かない方法があれば教えてほしい。 → 3つの方法を試してみるのはいかがでしょうか。 <ol style="list-style-type: none"> ①カーシートの裏側のマジックテープを調整し、背もたれを少し緩める。 ②枕の位置を首の付け根まで下げる。頭の空いた箇所にはタオルを入れる。 ③左ひじをブーメラクッションで支える 左ひじを重点的に支えている様子（写真5）

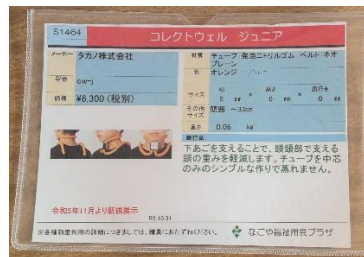


写真 5

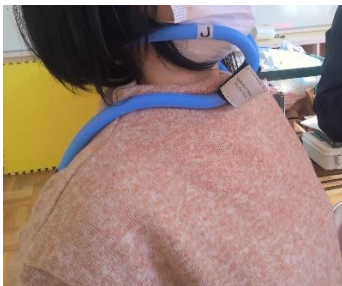
活動ごとに体を支える手段を変えることが大事。
 集中して見る際は写真のように支援する。手を動かす活動の際は支えを少なくし、動かしやすくする。また、「コレクトウェル」(a、b) や「イーコレ・ベーシック」(c、d) の使用も考えてみるとよい。

「コレクトウェル」を使用する際は、リハビリの先生と相談をし、検討する必要がある。

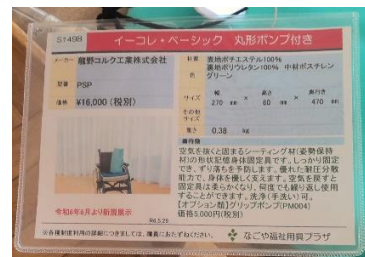
a.コレクトウェル



b.コレクトウェルを使用した様子



c.イーコレ・ベーシック



d.空気を抜いたイーコレ・ベーシック

